

## 2022年CTA ルール講習会

2022年3月19日 (Online 26名出席)

講師 田中 信子(ITFレフェリー)

### 0 はじめに

2022年ルールブックでは2021年からの大きな変更はない。

今回の講習参加者には審判員が多いと思うが一般のプレーヤも対象に講習を進める。

2021年のルール変更も含めて説明する。

### 1 2021年変更点 <チェアアンパイア> P186

今回新しくスタートオブマッチとウォームアップ中の任務>に試合開始までの流れが整理されて記載。

以下、説明のあった重要点。

#### 1) プリマッチミーティング 選手入場後、1分で開始する。 (主審はマスク)

練習は5分、その後1分で試合開始 ⇒ 1-5-1ルール

違反はスタートオブマッチバイオレーション

#### 2) サーバーとレシーバー

毎ポイント、レシーバの構えが出来ているかを確認。

25秒-90秒-120秒ルール (ポイント間、エンドチェンジ、セットブレイク)

1回目の違反は、タイムバイオレーションウォーニング

2回目 失点

### 2 コロナ対策 (大会)

・大会前後2週間の検温、体調チェック

・消毒液準備、換気

・飲み物、タオルは選手だけがタッチ

・会場内マスク着用 マスクのロゴのサイズ : 顔の横 26cm<sup>2</sup>

手当中のトレーナーもマスク着用。

### 3 2022年ルールブック上の重要点

#### 1) ノーアドなのに、レシーバーチョイスなしでプレー、1ポイント後に気がついた

⇒ その結果をそのまま成立させてそのゲーム終了

誤りに気がついた時がゲーム終了だったら、その結果は成立。

P60

#### 2) 試合中の電子機器の使用禁止(スマホ、スマートウォッチ他)

P55

#### 3) ヒートルール

P135

40.1℃以上になったときは試合の中断及び開始の遅延を検討する。 但し中断は

セット終了後に行う。(J1ランキング以上の公式大会。従来は最終セット前の10分間休憩のみ)

中断は1試合に1回。

#### 4) トイレットブレイク 3セットマッチでは1回

男子もコートから離れて着替えても良い。

#### 5) コート内への入場

P140

チーム戦ではキャプテン(または代理の選手)がコートへ入場できる。

エンドチェンジ、セットブレイク時にコーチングを受けることができる。

P154

#### 6) 服装 (女子)

レギンスの単独着用可。

P148

### 4 その他留意事項

#### 1) 熱中症 手当は1試合に1回だけ。

P137

#### 5) けいれん メディカルタイムアウトは取れない。

P137

コートチェンジの際の手当はOK。但し2回まで。

#### 2) リタイア レフェリが決定する。選手が勝手に決めてはいけない。

#### 3) ボールマーク クレーコートの場合はボールマークの確認を要求できる。相手コートに

入っても良い。最終判定は審判が行う。

判定できるほどのマークが残っていない場合は最初のコールが成立。

#### 4) コードオブコンダクト

ボールやラケットの乱用はコードバイオレーションとなる。

P153

悪質な違反行為は失格や大会からの追放もあり得る。

### 5 審判員の役割

省略

P186

## 6 セルフジャッジでの特記事項

P204~207

- 1) 妨害例 帽子を落としたとき、1回目はレットでプレーやり直し。2回目からは失点。  
落としたプレーヤーはレットをコールできない。
- 2) 相手のジャッジに不信が生じた場合  
お互いを尊重するのがまず第一。  
例えばインアウトでもめた場合は、ロービングアンパイアを呼ぶ。  
ボールとラインに空間があったかどうか確認。  
確信がなければアンパイアが判断、  
相手に有利に。ボールとラインに空間が見えなかったらグッド、  
口とハンドシグナルで明確に表示。  
コートの外の人には口を出さない。
- 4) ダブルスでペアのジャッジが食い違った場合  
そのペアの失点。  
ただしフォールトまたはアウトとコールした人がすぐにグッドに訂正した  
場合は一回目に限りポイントレットとしてやり直し。  
2回目からは失点となる。
- 5) ネット前にあったボールが風で転がった場合、レットをコールできる。
- 6) 判定をコールできるサイド
  - a) 「フォールト」「アウト」「イン」⇒ ネットの自分側のボールに対してコールできる。
  - b) 「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」  
⇒ 両方のプレーヤーがコールできる。
- 7) 打たれたボールが空中にある間にレットがコールされた場合；  
そのボールがインの時はレットとしてやり直し、  
アウトの時は打った側の失点。  
但し打たれたボールが明らかなウイニングショットまたはエースの時は得点が成立。
- 8) セカンドサービス中のレットコール  
モーションに入ってからレットの時はファーストからやり直し。

## 7 Q&A

- 1) フットフォールト  
プレーヤーが相手にクレームをつけることはできない。  
ロービングアンパイアを呼ぶ。
- 2) コート上のボールをインプレー中に足やラケットで動かした  
⇒相手はレットをコールできる。2回目からは失点。  
コート上にボールを放置しないこと。
- 3) ダブルスのネットポール  
シングルの試合においてはパーマメントフィクスチャー扱い(壁と同じ)
- 4) けいれん  
ゲーム中に発生した時には、相手にサイドチェンジまたはセットブレイクまでのポイント  
またはゲームを譲って休むことができる。1試合で2回まで。2回分なら3分間(90秒 X 2)。  
エンドチェンジとセットブレイク合計では3分半。

以 上